「蛇くい」「黒百合」など富山を舞台とした「越中もの」と呼ばれる作品を残した泉鏡花。金沢市下新町の泉鏡花記念館で、企画展「鏡花わーるどin富山」が開かれている。

展示されているのは鏡花の自筆原稿や初版本など計55点。鏡花の父・清次が高岡に出稼ぎで働き、鏡花自身も少年時代に富山市で数カ月を過ごすなど、鏡花にとって故郷金沢に次いで親しんだ土地であったという。また、霊峰立山の地獄説話など、富山に伝わる怪異な伝承の数々は、鏡花文学の形成にも大きな影響を与えたとされる。

泉鏡花記念館で開催中の企画展「鏡花わーるどin富山」＝金沢市下新町

9月23日まで開催。入場料は一般・大学生300円、65歳以上200円、高校生以下無料。6月9日には、金沢学院大教授の秋山稔さんを講師に文学講座「泉鏡花と富山」が開かれる。午後1時から、金沢文芸館で。申し込み、問い合わせは泉鏡花記念館（076・222・1025）へ。

HABガイド

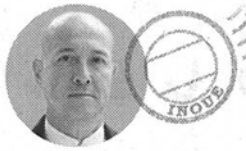
29日

みんなの家庭の医学
（午後8時～8時54分）
今夜は「老け顔の新事実スペシャル」。老け顔の人は早死にする!? 全身の老化を進め、早死にするリスクを高める真犯人とは。実験によって判明した、楽々できる身体を若く保つ方法を紹介。

の内公園町の木曽義仲寺記念館（0761・22・3384）。自由な作風で知られた中村素恒ら昭和に活躍した九谷焼作家の作品40点余りを展示。一般300円、高校生以下無料。月曜休館（祝日の7月16日は開館し、翌17日休館）。

いしかわスクエア

井上 道義の 未来だった今より



♬ バナナの心臓外科医

天皇陛下の心臓手術を執刀した順天堂大教授の天野篤医師を取り上げたNHKのテレビ番組「プロフェッショナル　仕事の流儀」を見て驚かなかった人はいまい。バナナと健康飲料だけの食事の貧しさはテレビの誇張も多少あろうが、ソファベッドでの寝泊まりには心底驚いた。私自身、夏休み中に作曲に熱中するとあんぱんと蕎麦で1週間ぐらいは何ともないが、天野さんのは、ず～～っとらしい!!

天才はカバと紙一重と言われるが、3度浪人の学歴といい、連日のつま先立っての長時間手術といい、余りにイッテシマっていて開いた口がふさがらなかった。どうも天野さんという人は小澤征爾さんとどこか同類な匂いがある。ドリョクトマラズトコトンナニカニシュウチュウ。手術の事以外に何も興味がないようだ。僕は「人間として生まれたのにもったいない。人生には素晴らしい事がもっとたくさんあるのに」とも思うのだが、「ノーベル賞をもらう人とかは、皆こうなんだ」と旧知の文化勲章受章者が呻いていた。

天野さんをそこまで動かすのは多分若い時心臓病だった父親を救えなかったことが大きなきっかけとなっているのだろうし、命を救えるのは素晴らしい仕事だ。ともあれ、こういう突出したテクニックとエネルギーを持つ人が、天皇陛下に若き日の思い出の地・英国を再訪する力を与えた。日本も実力主義が本物に近づいている証拠だ。学閥も全く意味がないわけではなかろうが、専門職こそ大事なところでこのように真に実力第一でなければ。

芸術やオーケストラの世界も見習いたい。私も生前色々あった父親へのオマージュが主題の舞台作品を作曲中。これは何としても良い作品に仕立てたい。

（オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督）

金沢市広報
毎週火曜日掲載 平成24年5月29日
金沢市役所（〒920-8577 広報広聴課
☎(076)220-2033 FAX(07
Eメール:kouhou@city.kana